



AIN GROUP

---

第51期 株主通信

2019年5月1日 ▶ 2020年4月30日

Financial Report

株式会社アインホールディングス

## ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より、当社グループに温かいご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。また、今般の新型コロナウイルス感染症の被害にあわれた方々及びその関係者の皆さまには、謹んでお見舞いを申し上げますとともに、一日も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。

さて、当社グループの第51期(2019年5月1日から2020年4月30日まで)の決算が終了いたしましたので、ここに事業の概況につきましてご報告申し上げます。

医療の最前線に最も近いファーマシー事業では、改めまして、地域医療の一翼を担う社会的役割を強く認識し、約5,200人の薬剤師が調剤薬局にて日々精励しております。また、コスメ&ドラッグストアを中心としたリテール事業においても、全国主要都市を中心に、事業規模拡大に努めてまいりました。

今後も一層の企業価値向上に取り組む所存でございますので、株主の皆さまにおかれましては、何卒ご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長

大谷 喜一



Q 今期の業績はいかがでしたか。

M&Aを含む35店舗の新規出店及び前期出店が寄与し、売上高は前期比6.2%の増加となり、経常利益は売上高の増加により、前期比1.1%の増加となりました。

ファーマシー事業におきましては、前期出店の寄与に加え、高薬価薬剤による処方箋単価上昇により、売上高は前期比7.7%の増加となりました。

リテール事業におきましては、15店舗の新規出店を行ったものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休業や営業時間短縮により、売上高は前期比2.0%の減少、セグメント利益は売上高の未達により、前期比73.0%の減少となりました。

その結果、連結の売上高は、2,926億1千5百万円（前期比6.2%増）となり、経常利益は168億2千2百万円（同1.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は91億7千9百万円（同1.7%増）となりました。

また、グループ店舗総数はM&Aを含めた35店舗の出店と、店舗運営の見直しによる70店舗の閉店・譲渡により、1,151店舗（同35店舗減）（※1）となりました。

（※1）2020年4月期末時点



Q ファーマシー事業の展開についてどのようにお考えですか。

「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能強化及び人材育成を継続するとともに、今後の大型出店に備え、人材採用を一層強化してまいります。

「かかりつけ薬剤師・薬局」としての機能をより強化すべく、地域医療との連携、お薬手帳等を活用した薬剤に関する情報の一元的・継続的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導の強化及びジェネリック医薬品の使用を引き続き促進してまいります。

また、薬剤師不足問題が深刻化している中、2020年4月は当初計画の400人を大きく上回る560人を採用いたしました。来年も550人の新卒採用を目指し、積極的に取り組んでまいります。一方で、社会が求める薬局の機能が広範かつ専門的になっていることから、薬剤師の研修制度やサポート体制をさらに強化し、高度医療を実践的に学ぶ機会を増やす等、教育研修の強化を図ってまいります。

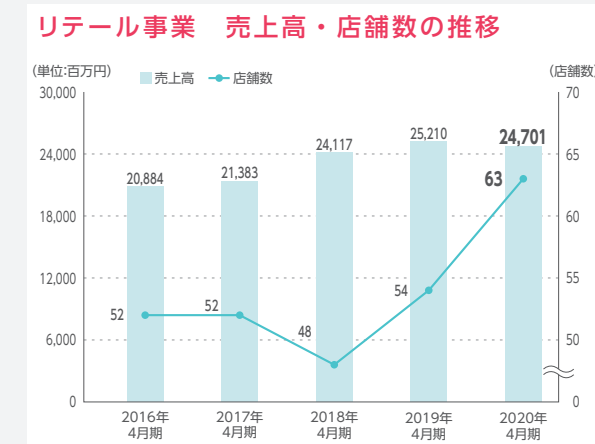
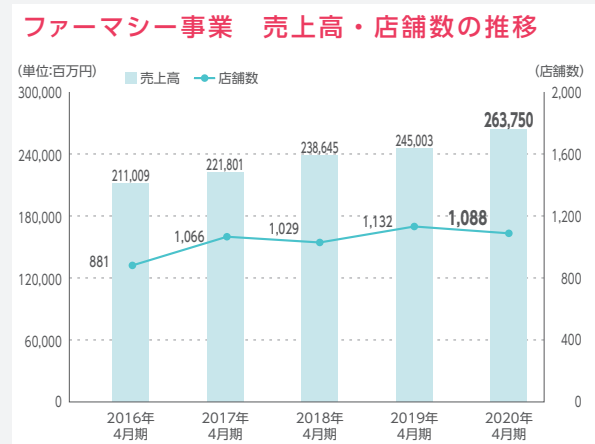


Q リテール事業の展開についてどのようにお考えですか。

大都市圏への継続的な出店に加え、「アインズ&トルペ公式アプリ」をリリースする等、事業拡大及び顧客の利便性向上を目指してまいります。

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減や新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、厳しい市場環境が続いている中、コスメ&ドラッグストア「アインズ&トルペ」は大都市圏へ継続的に出店。さらに、昨年10月1日にリリースした「アインズ&トルペ公式アプリ」により、ポイントカードをアプリ化し、顧客の利便性ならびにサービスの向上を図っております。

積極的な出店戦略により、一時的な出店及び販促コストが増加しているものの、「リップス&ヒップス」をはじめとするオリジナルブランドの積極的な展開と、仕入れの見直しを継続し、さらなる収益の拡大を目指してまいります。





## ファーマシー事業

Dispensing  
Pharmacy Business

2020年4月の調剤報酬改定では、地域におけるかかりつけ機能に応じた適切な評価と対物業務から対人業務への構造的な転換を推進することを目的として、評価の重点化と適正化が行われました。また、医療業界における薬剤師不足は継続的な課題となっており、そのような環境のもと、当社グループは全社一丸の採用活動を進めた結果、4月には過去最高となる560人の新卒薬剤師を採用いたしました。

2020年4月期はM&Aを含め、20店舗を出店し、また店舗運営の効率化を目的に64店舗を閉店・譲渡した結果、調剤薬局総数は1,088店舗となり、売上高は2,637億5千万円（前期比7.7%増）、セグメント利益は208億5千万円（同13.7%増）と増収増益となりました。

## TOPICS

### アイングループ最大規模の薬局 アイン薬局 獨協医大店がオープンいたしました

2020年4月1日、獨協医科大学病院（栃木県下都賀郡）の敷地内に「アイン薬局 獨協医大店」がオープンいたしました。グループ初の取り組みとして、デジタル問診表（使用端末：iPad）や自動精算機、抗がん剤調製専用のハザード室導入のほか、100人以上のスタッフを配置する等、当社グループの中でも最大規模の薬局となっております。



アイン薬局 獨協医大店 外観



アイン薬局 獨協医大店 待合室

### アイン薬局 日本医大北総店 アイン薬局 徳島大学病院店オープン

「アイン薬局 獨協医大店」と同時に、日本医科大学北総病院と徳島大学病院の敷地内に、大型薬局を2店舗オープンいたしました。今後も引き続き、利便性の高い好立地へ積極的に出店するとともに、高度薬学管理を推進し、地域のプラットフォーム薬局として、医療機関と広くネットワークをつなぎ、地域の皆さまの健康をサポートしてまいります。



アイン薬局 日本医大北総店



アイン薬局 徳島大学病院店

### 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた アイングループの取り組みについて

全国緊急事態宣言の発令及び4月10日付厚生労働省発出の事務連絡「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」を受け、調剤薬局全店でカウンターにビニールシートを設置する等、感染の拡大防止に向けた店舗環境を整備し、これまでと同様のサービスを維持できるよう注力いたしました。



オンライン診療システムを活用したオンライン服薬指導



服薬指導時の感染拡大防止対策



## リテール事業 Cosmetic & Drug Store Business

「アインズ&トルペ」は、トータルビューティショップとして「女性が1時間楽しめるお店」をコンセプトに、大都市圏の商業施設・駅構内等、集客力の高いエリアで店舗展開をしております。

今期は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により厳しい状況が続いておりますが、戦略的な売り場をつくるとともに、お客さまの利便性とサービスの向上を図っております。さらに、千葉県初の出店となるペリエ千葉店（千葉県千葉市）をはじめ、川崎ゼロゲート店（神奈川県川崎市）、ペリエ海浜幕張店（千葉県千葉市）、BEAUTY FACTORY 横浜ハンマーヘッド店（神奈川県横浜市）、銀座インズ店（東京都中央区）、LINKS UMEDA店（大阪府大阪市）を含む過去最多の15店舗を出店し、リテール事業の店舗総数は63店舗となりました。その結果、売上高は247億1百万円（前期比2.0%減）、セグメント利益は2億6千2百万円（同73.0%減）となりました。

## TOPICS

### 差別化戦略による新業態へのチャレンジ

2019年10月31日、みなとみらい新港地区の「横浜ハンマーヘッド」内に、“Food” “Gift” “Cafe” の新しい要素を取り入れた「アインズ&トルペ BEAUTY FACTORY 横浜ハンマーヘッド店」をオープン。新しい“キレイ”を見つけられる、コスメ&ビューティのアインズ&トルペが提案する新しいかたちのコンセプトストアです。



アインズ&トルペ BEAUTY FACTORY 横浜ハンマーヘッド店



ショップ内併設Cafe

### 大丸松坂屋百貨店への出店を含む西日本エリアの出店強化をしております。

リテール事業では大都市圏への出店を強化しております。2020年4月期は前期再進出を開始した関西を中心に西日本へも積極出店を行い、2019年10月にアインズ&トルペ 栄セントラルパーク店（愛知県名古屋市）、2019年11月にアインズ&トルペ LINKS UMEDA店（大阪府大阪市）、2020年3月にアインズ&トルペ 大丸下関店（山口県下関市）と九州初の出店となるアインズ&トルペ 博多マルイ店（福岡県福岡市）をオープンいたしました。中でも、アインズ&トルペ 大丸下関店は大丸松坂屋百貨店への当社初出店となり、2021年4月期には大丸京都店及び大丸梅田店へも出店しております。今後もアインズ&トルペのブランド力の強化及び店舗拡大を図ってまいります。



アインズ&トルペ 博多マルイ店



アインズ&トルペ LINKS UMEDA店



アインズ&トルペ 大丸下関店



アインズ&トルペ 仙台PARCO2店

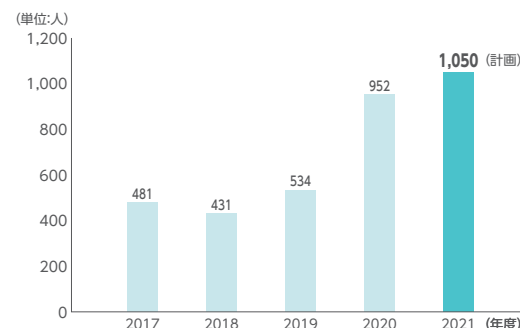
## 2020年度アイングループ入社式 過去最多となる952人の新入社員がアイングループに入社いたしました

2020年4月、アイングループは薬剤師560人を含む、952人の新入社員を迎えました。今般の新型コロナウイルス感染拡大のリスクを考慮し、入社式は6月10日に、対面式からオンライン式に切り替えて実施いたしました。今後の事業拡大を見据え、来年は薬剤師550人を含む1,050人の採用を目指しております。

### ■ 2020年度 アイングループオンライン入社式



### ■ 新卒採用数推移



## 「AIN イノベティブカンファレンス 2019」を開催いたしました

薬剤師の医療貢献に向けた日々の取り組みの研究成果を発表する場として、2019年9月1日に第1回目となる「AIN イノベティブカンファレンス 2019」を開催いたしました。当日は全国各地より約600人が出席し、非常に活発な意見交換の場となりました。



□頭発表



ポスター発表



大会ポスター

## アユラ初のフラッグシップショップ 「AYURA GINZA」がオープンいたしました

アユラは、「肌・からだ・心」のバランスを整えて、さまざまなダメージに「負けない肌」を実現するコスメブランドとして、スキンケアアイテムやボディケアアイテム等を展開しております。2019年9月20日、アユラ初のトリートメントサロン併設型のフラッグシップショップ「AYURA GINZA」がオープンいたしました。

### 1F SHOP



### 2F AYURA Holistic Salon



▶ Holistic Salonは、新型コロナウイルス感染拡大を受け、当面の間営業を休止しております。最新の営業状況に関してはAYURA公式ウェブサイトよりご確認ください。



## 病院内・施設内売店事業へ 参入いたしました

2020年3月31日、全国で400超の病院内売店及び施設内売店事業等を運営する(株)シダックスアイ（現(株)アインファーマシーズ）をグループに迎えました。同社を迎えることにより、敷地内アメニティの充実を中心とした医療機関との連携強化が可能となり、さらなる調剤薬局出店の拡充及びサービスの向上を図ってまいります。



## 「DAZZSHOP」がグループ入り いたしました

2019年11月より、カラーコンタクト及びメイクアップを中心として展開するコスメブランド「DAZZSHOP」がグループ入りいたしました。今後も引き続き、アイングループのリテール事業におけるオリジナルブランドの拡充を強化してまいります。



アイングループは企業活動が環境（Environment）と社会（Social）に及ぼす影響に配慮するとともに、経営のガバナンス（Governance）を確かなものとするESG経営を推進し、サステナブルな（持続可能な）社会を実現するためのさまざまな取り組みを進めております。

## Social

### 女性の活躍及び子育てを推進してまいります

当社グループの従業員に占める女性比率は81.7%と、多くの女性が活躍しております。

今後も引き続き、女性の能力が発揮できる場を増やし、積極登用に向けて取り組んでいくと同時に、仕事と子育ての両立についても、積極的にサポートしてまいります。

#### ■ 管理職の女性比率

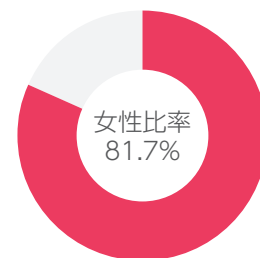
管理職（全体）	31.7%
取締役	16.0%
執行役員	33.3%

▶2020年4月期  
▶管理職（全体）：本部の係長職以上及び業局長、店長

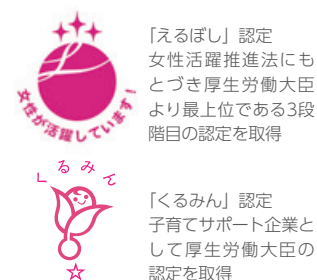
#### ■ 産休・育休・育児短時間勤務取得者

産前産後休暇	400人
育児休業	584人
育児短時間勤務	725人

#### ■ 従業員の女性比率



#### ■ 各種認定の取得



### 働き方改革の推進 “自分らしい働き方”をサポートします

アイングループで働く社員が、子育てや介護のみならず、より自分らしく働くことができる環境づくりの一環として、「勤務時間選択制度」を導入いたしました。



## Environment

### 新たな医薬品流通モデル構築に向けたトライアル

近年、地球温暖化による気候変動が全世界的な課題となっております。また、国内では人生100年時代の到来、少子高齢化による働き手の減少、社会保障財政の逼迫等、人々の暮らしや健康に直結する課題が山積しており、企業が行う事業活動においてもSDGsの意識と行動が必須となりつつあります。

これらの環境及び社会課題に挑戦していくために、アイングループは、2020年3月より、医薬品卸売会社との協業で、地球環境に配慮した医薬品流通のあり方を目指したトライアルを実施しております。

本取り組みを通じて、薬局ごとの需要予測及び最適在庫等のデータを共有し、物流センターの出荷効率の最大化及び店舗環境にあわせた配送回数を減らすことで、車両燃料に起因するCO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減します。また、納品・検品等の作業を効率化し、両社の従業員の労働生産性を向上させ、薬剤師の本来業務への時間創出を図ります。今後も、環境の改善及び持続的成長を見据えた効率的な事業環境の実現に向けて、新たな流通モデルを構築してまいります。



## Governance

### ガバナンスの強化に取り組んでまいります

当社グループは、ファーマシー事業及びリテール事業を主として展開しており、いずれも人々の健康を担う性質上、コンプライアンスを最重視した健全かつ透明な事業活動を継続することが、不可欠と認識しております。

これらを実現する体制として、当社は、監査役制度を採用しており、経営上重要な意思決定及び業務執行のほか、経営全般に対する監督機能を発揮しております。

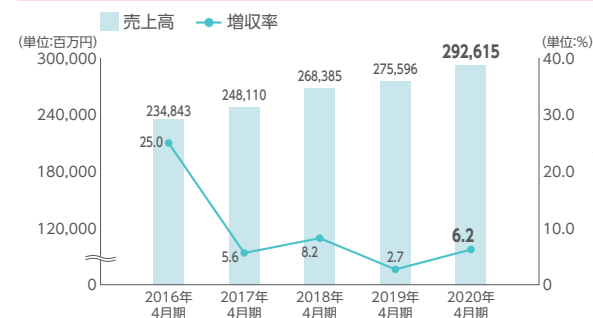
また、社長直轄の内部監査室は、実地監査を通じて関係法令及び社内諸規則・ルールの遵守を徹底しております。上記のほか、企業倫理及び法令遵守体制を経営陣はもとより全社員に広く浸透、定着させるため、全取締役、監査役及び顧問弁護士によるコンプライアンス委員会を設置し、コーポレート・ガバナンスの充実を図っております。

#### ■ コーポレート・ガバナンスの状況

取締役数	12人(社外取締役4人を含む)
監査役数	3人(社外監査役2人を含む)
取締役会実施数	11回
社外取締役出席率	90.5%
監査役会実施数	11回
社外監査役出席率	100%
指名又は報酬委員会設置の有無	あり

▶2020年4月期

## 売上高 2,926億1千5百万円

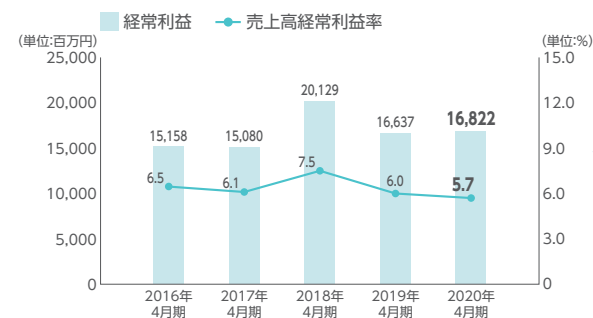


売上高  
6.2%増

### 新規出店及び前期出店が寄与し、20年連続増収を達成

運営効率化を目的として70店舗を閉店・譲渡したものの、新規出店及び前期出店の寄与に加え、高薬価薬剤による単価上昇により、売上高は前期比6.2%増と20年連続増収を達成しました。

## 経常利益 168億2千2百万円

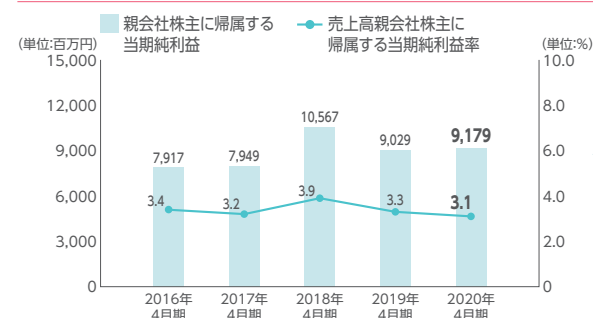


経常利益  
1.1%増

### ファーマシー事業の売上高増加により、経常利益は1.1%増

新型コロナウイルスの影響により、リテール事業では前期を大きく下回ったものの、ファーマシー事業における前期出店の寄与等により、経常利益は前期比1.1%の増益となりました。

## 親会社株主に帰属する当期純利益 91億7千9百万円

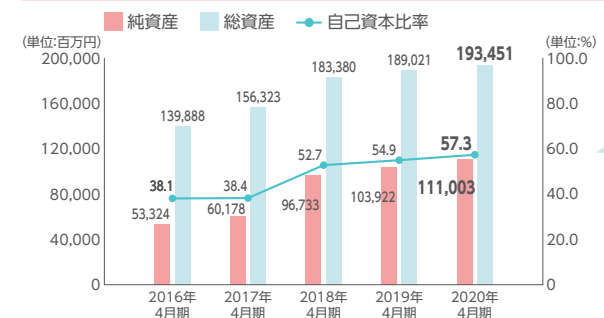


親会社株主に帰属する当期純利益  
1.7%増

### 不採算店の整理及び好立地への出店を継続的に推進し、利益確保へ

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比1.7%増となりました。今後も好立地への出店及び業務効率化を継続し、さらなる利益の確保を続けてまいります。

## 純資産 / 総資産 / 自己資本比率

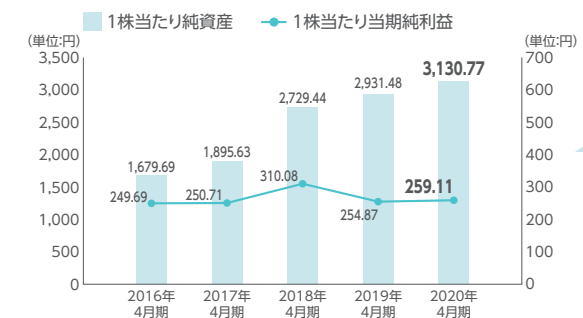


純資産  
6.8%増

### 健全な財務体質を維持

純資産は前期比6.8%増、総資産は前期比2.3%増、自己資本比率は前期比2.4ポイント増となりました。依然として健全な財務体質を維持しております。

## 1株当たり純資産 / 1株当たり当期純利益

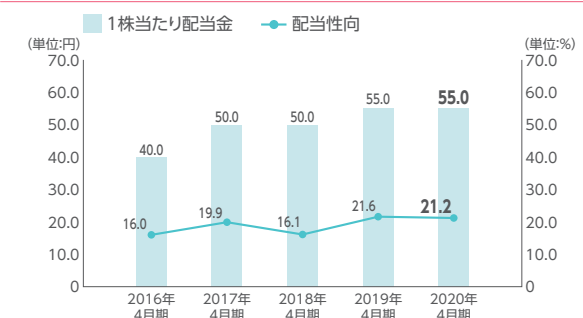


1株当たり純資産  
6.8%増

### 経営の健全性及び安定性を確保

1株当たり当期純利益は前期比1.7%増、1株当たり純資産は前期比6.8%増となり、継続的に経営の健全性及び安定性を確保しております。

## 1株当たり配当金 / 配当性向



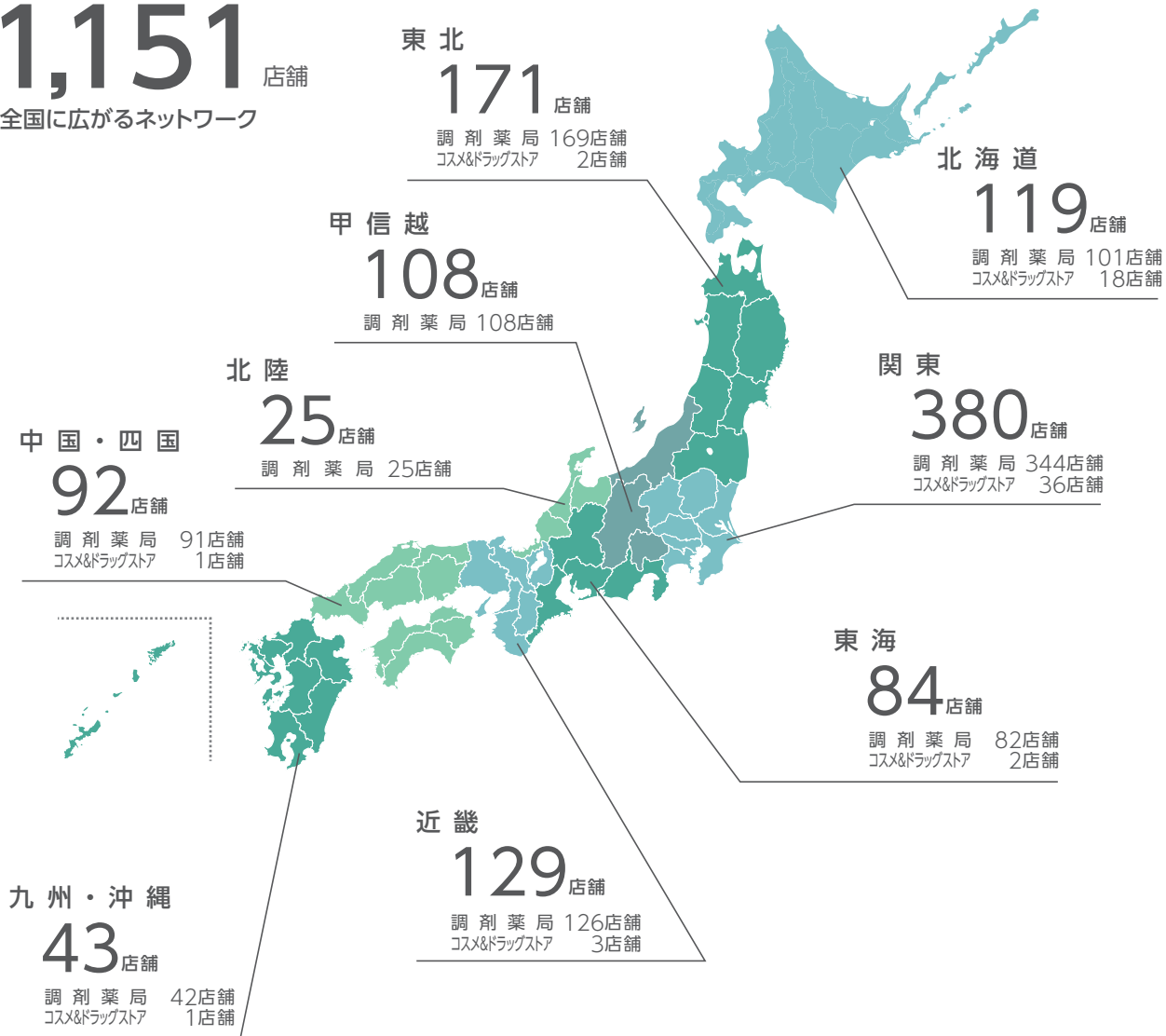
1株当たり配当金  
55円

### 1株当たり配当金は55円を維持

1株当たり配当金は55円を維持し、配当性向は21.2%となりました。これからも継続的な企業成長により、株主の皆さまへの還元を行ってまいります。

アイングループ

**1,151** 店舗  
全国に広がるネットワーク



**商号** 株式会社アインホールディングス  
**本社** 札幌市白石区東札幌5条2丁目4番30号  
 TEL (011) 814-1000 (代表)  
**設立** 1969年8月  
**資本金** 218億9,497万円  
**従業員** 13,158人 (パート含む) (グループ連結)  
**事業内容** 調剤薬局・コスメ&ドラッグストアの経営、ジェネリック医薬品の卸売販売、化粧品品の販売、売店の経営等、各事業を中心とした企業グループの企画・管理・運営

**役員構成**

代表取締役社長	大谷 喜一
代表取締役専務	櫻井 正人
代表取締役専務	首藤 正一
代表取締役専務	水島 利英
常務取締役	大石 美也
取締役	木明 理絵子
取締役	淡路 英広
取締役	酒井 雅人
取締役(社外)	森 洸
取締役(社外)	濱田 康行
取締役(社外)	遠藤 典子
取締役(社外)	伊藤 順朗
常勤監査役	川村 幸一
監査役(社外)	居林 彬
監査役(社外)	村松 修

株式の状況

発行可能株式総数 ..... 44,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 35,428,212株  
 株主数 ..... 7,238名  
 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
大谷 喜一	3,238	9.14
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	2,750	7.76
株式会社北洋銀行	1,758	4.96
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口	1,594	4.50
株式会社北海道銀行	1,472	4.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,232	3.48
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,175	3.32
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	633	1.79
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140041	630	1.78
農林中央金庫	600	1.69

▶持株比率は自己株式(728株)を控除して計算しております。  
 ▶みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 丸紅口の所有株式は、丸紅株式会社が退職給付信託として拠出したものです。



## 株 主 メ モ

事業年度 定時株主総会 基準日	毎年5月1日から翌年4月30日まで 毎年7月開催 毎年4月30日 その他、必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。
配当金受領株主確定日	毎年4月30日 なお、中間配当を実施する場合の中間配当金受領株主確定日は、10月31日です。
1単元の株式数 株主名簿管理人	100株 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更、単元未満株 式の買取・買増等)		みずほ証券 本店及び全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	上記「特別口座の場合」のお取扱店に加え、みずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	<p>支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株券電子化前に名義書換を失念し、お手元に他人名義の株券がある場合は、至急上記電話お問い合わせ先までご連絡ください。</li> <li>・特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。</li> <li>・みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。</li> </ul>	

**公 告 方 法** 電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ(<https://www.ainj.co.jp/>)といたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。



**UD FONT**  
見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。